

処理に困っている資金、通帳等に係る点検結果について

- 1 対象所属
日野高等学校

2 処理に困っている現金等について

概 要	調査結果及び対応方針
<p>(1) 現金35,335円</p> <p>平成26年度まで日野高ショップの釣り銭として使用されていたが、平成27年度から日野高ショップ釣り銭が県費措置されることとなり、当該現金を使用する機会がなくなったもの。</p> <p>本来であれば県費外会計として処理してくるべきものであったと考えられるが、学校においてその認識がないまま引き継がれてきていた。</p>	<p>学校を通じて関係資料の確認及び関係者への聞き取り等による調査を行ったが当該現金の正確な出所を確認することはできなかったことから、全額を県に繰り入れることとする。</p>
<p>(2) 収入印紙600円分</p> <p>平成28年1月末頃、職員が鍵を探して、事務室書庫内の金庫にある長期間開けたことのなかった古い鍵が保管されている缶を開けたところ、200円分の収入印紙3枚が入っているのを発見したものの。</p>	<p>学校を通じて関係資料の確認及び関係者への聞き取り等による調査を行ったものの、出所不明であり、いつから、何のために事務室内で保管されていたものか等について確認することができなかった。</p> <p>現在、日野高等学校において印紙を使用する事務は存在しないため、他所属に保管換えの上、有効活用を図ることとする。</p>